

令和6年度改定 清瀬市駐車場事業経営戦略（概要版）

経営戦略の趣旨

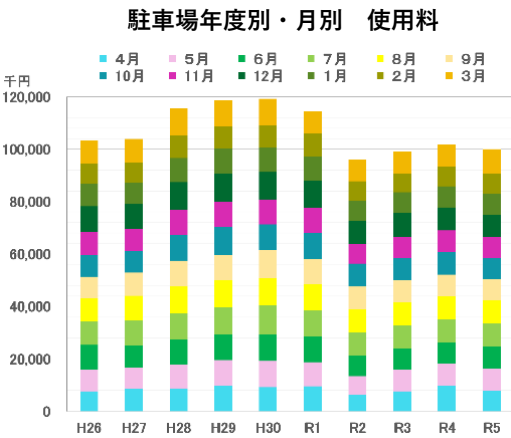
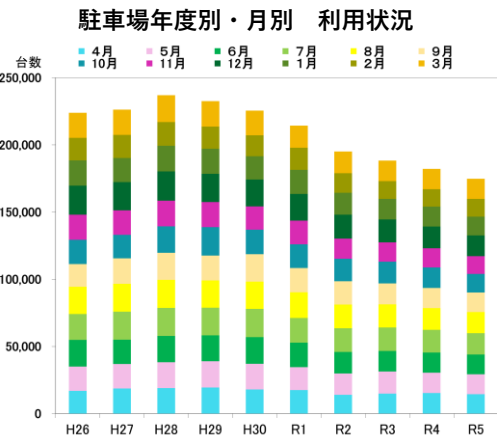
- 経営戦略の趣旨
利用実績が減少傾向である事や、施設の経年劣化により修繕が必要な状態である事等、経営課題が山積みしている中で、安定・継続したサービスを提供していくための指針として策定します。
- 計画期間
令和7年度～令和16年度（10年間）

事業の概要

■事業形態			
法適・非適の区分	非適用	事業開始年月日	平成7年度
職員数	1人(兼務)	施設名	クレア市営駐車場
種類	都市計画駐車場	構造	立体式
立地	駅前	建設後の経過年数	29年
駐車場使用面積	9,919.19㎡	収容台数	247台
営業時間	24時間営業	民間活用状況	指定管理者制度
■利用料金形態			
一時利用	7時～24時	24時～7時	全日
	最初の60分300円 以降30分毎150円	60分毎100円	最大料金 24時間900円
障害者割引 1時間分を割引			
定期利用	月極 30,555円、平日 8,800円		
料金形態の考え方	収益性や過去の実績及び立地や近隣の民間駐車場料金等を総合的に勘案し決定しています		
料金改定年月日	令和元年10月1日		

事業の現状と課題

- 現在の経営状況
利用台数は、平成30年度より減少傾向となっており、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化等により、更に減少が進んでいます。利用台数の減少に伴う収入減小の影響を最小限に留めるため、付加価値のあるサービスの提供に取り組むことにより、近年の使用料収入は横ばいで推移しています。



- 施設の状況
施工から29年が経過し、躯体部分や各種設備にも老朽化に伴う不具合が発生している状況です。今後の改修計画において、利便性と安全性の向上を図りつつ、長期的な施設管理を進める必要があります。

経営戦略の基本方針

- 商業支援及び道路交通の円滑化促進
清瀬駅に直結し、大規模な収容台数を有する駐車場として、商業支援と道路交通の円滑化に貢献します。
- 経営基盤の確保
行政サービスとして駐車場を安定継続して運営するため、収益の向上及び収支状況の安定を図ります。

効率化・健全経営の取組み

- 事業の意義と公営企業として実施する必要性
中心市街地の利便性向上と商業支援を果たす市営駐車場としての事業の意義は大きく、市の政策推進にとっても不可欠な役割を果たしている。
- 利用者増加による収入増加の取り組み
カーシェアリングやパークアンドライド等のサービスを導入するなど、更なる利便性と付加価値向上に取り組んでいます。

投資・財源計画

- 投資計画
長期的な施設管理を進めるため、数年ごとの大規模改修工事を計画しています。現時点では、主な工事として令和10年に防水工事を、令和15年に電気設備工事を、令和16年に消防設備工事を予定しており、各工事の前年には調査・設計を実施するための費用を計上しています。今後、想定外の修繕が発生した際には、対策を検討の上、適宜計画を更新します。
- 財政計画
指定管理者制度を導入している本市の駐車場事業は、指定管理者からの納付金を主な財源とし、必要経費や建築改良費等を差し引いた後、一般会計に繰出しています。大規模改修を実施する年度については、一般会計からの繰入を検討することにより、適切な事業運営に取り組めます。

投資・財政計画より一部抜粋										千円
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
総収益	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	84,324	72,000	156,499	384,007
収益的支出	62,570	28,478	23,446	23,860	24,385	24,922	83,993	28,633	29,263	29,907
建築改良費	10,530	297	5,831	32,381	317	324	331	11,925	127,236	354,100
他会計繰出金	35,756	43,225	42,723	15,759	47,298	46,754	0	31,442	0	0

※令和7年度は要求ベース